

事務事業名	道路橋りょう維持管理事業	事務事業No.	673 - 2
-------	--------------	---------	---------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
都市建設部	土木管理課	道路維持係	係長	永尾 拓道	課長	初迫 博史
施策体系	総合計画	政策	6	都市基盤・生活基盤		
		施策	7	道路の整備		
		基本事業	3	安全・安心な市道・橋りょう整備の推進		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	道路法					
事業開始年度	平成18年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	施設維持管理事業	
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし	実施計画期間	なし	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	市が管理する道路と橋りょうを安全で良好な状態を維持するため、道路管理業務として舗装修繕、構造物修繕、路面清掃作業、伐採委託、街路樹の剪定、防除等を実施している。また、道路パトロールを実施しポットホール等の不良個所の点検、応急処置も行っている。これら道路、橋りょうの維持管理については、緊急性の高い箇所から随時修繕工事を実施し、快適な道路環境を維持している。					
対象	働きかける相手・もの	市が管理する道路及び橋りょう				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	通報、要望、苦情箇所の現地調査を行い、修繕や改修工事を実施する				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	市が管理する道路及び橋りょうを安全に通行できるよう施設を適切に維持管理する				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
市道・橋りょうの修繕・改修実施件数	件	道路施設の修繕・改修を実施した件数	396	410	400
道路パトロールの実施回数	回	職員等による道路パトロールの実施回数	550	560	
橋りょう長寿命化修繕事業の橋数	橋	橋りょう長寿命化修繕計画策定による工事実施橋数	5		

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	道路パトロールによる損傷箇所への応急処置対応件数	単位	達成目標値	目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
		件	9,000	10,000	10,000	9,000	10000
説明	道路パトロールで発見した応急処置対応を実施した件数	方向性	達成目標年度	実績	11,970	12000	
		維持	毎年度	達成率	119.70%	133.33%	
指標	道路関係等事故発生及び処理件数	単位	達成目標値	目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
		件	0	0	0	0	0
説明	市が管理する道路で通行中に生じた事故の処理実施件数	方向性	達成目標年度	実績	1	2	
		維持	毎年度	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	
指標	橋りょう長寿命化修繕計画の計画実施率	単位	達成目標値	目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
		%	100	100	100	100	100
説明	計画/実施数	方向性	達成目標年度	実績	100	100	
		維持	毎年度	達成率	100.00%	100.00%	

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	政策的経費・義務的経費・経常経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計	1 一般会計	款	8 土木費	
	大	99 その他の道路橋りょう維持費	中	1 道路橋りょう維持管理費	
			他	7 事業	
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	11.19 人 91,714	11.41 人 89,090	新型コロナウイルス感染症対策事業費の縮小及び橋梁補修工事費用が前年度に比べ下がったことによるもの	11.22 人 87,606
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.50 人 1,908	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	2.00 人 5,854	1.55 人 4,513		1.55 人 4,513
	1級フル	3.50 人 10,175	5.08 人 14,199		5.00 人 13,975
	1級パート	6.40 人 12,826	8.00 人 15,856		7.50 人 14,865
	2級パート	1.80 人 4,740	0.05 人 133		0.05 人 133
人件費計(A)		127,217	123,791		
事業費	直接事業費(B)	924,977	710,246		701,833
	総事業費(A+B)	1,052,194	834,037		822,925
直接事業費のうち の主な歳出内訳	各所草刈等委託料	117,454	129,070		140,409
	各所維持修繕工事	265,117	373,605		283,900
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0		0
	国・県支出金	217,619	112,101		51,672
	市債	128,300	95,200		186,600
	一般財源	706,275	626,736		584,653
	その他( )	0	0		0

**6. 事務事業の事後評価★**

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価  (上位施策/ 成果)	市の関与の妥当性	妥当	道路管理者として施設を適切に維持管理する必要があり、市の関与は妥当である。
	目的の妥当性	妥当	道路管理者として道路と橋りょうを安全で良好な状態で適切に維持管理していく事業であり、目的は妥当である。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	不特定多数の者が利用する道路、橋りょうの安全確保を重視し、緊急度の高いものから修繕工事を実施しており、偏りはなく対象の妥当性は確保されている。
効率性 評価  (活動量/ コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	管理対象施設が多く、年々補修が必要な箇所が増加傾向にあることからコスト削減、効率化を図ることは困難である。
	負担割合の適正化	適正	受益者負担はない。
	手段の最適性	最適	他に替わる事業はない。
有効性 評価  (成果/ 活動量)	目標達成度	達成	補修等を要する道路、橋りょうは数多くあるが、毎年予算の範囲内で成果を上げており目標は達成されている。
	上位施策への貢献度	貢献できた	道路、橋りょうの安全性を確保するための事業であり、上位施策に貢献できている。
	事業継続の有効性	ある	対象施設の維持管理事業であり、今後も事業を継続していく有効性はある。

**7. 前年度評価時の計画と実績**

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	職員による道路パトロール及び点検、応急処理を実施する。
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入

通常勤務時に常時道路パトロールを実施できた。広報にポットホール通報依頼を掲載を行い市民や関係各位の通報により、早急にポットホール補修を実施できた。

**8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★**

**成果**  
・橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、2橋の修繕工事を実施した。  
・道路パトロールにより危険箇所を発見した場合や草刈等における住民からの通報や苦情などに対して迅速に対応し通行等の安全確保に努めた。

**課題**  
限りある予算内で最適な施設の維持管理が行われるように、修繕や改修を行う事業箇所を十分に精査し実施しなくてはならない。

**9. 今後の事業の方向性と改善策**

成果の方向性	拡充				評価区分	事務事業の方向性
	現状維持	④	②	①		
縮小	③	⑤		二次評価	①コスト・成果ともに拡充	
休・廃止	⑦	⑥				
	休・廃止	縮小	現状維持	拡充		
	コスト投入の方向性					

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策  
職員による道路パトロール及び点検、応急処理を実施する。

コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策  
草刈については、業者と直営で対応しているが、地元ボランティアで草刈を行っていた箇所が高齢化により実施できなくなり市対応箇所が年々増加し、通行の安全確保が困難になる傾向がある。改善策として草刈箇所を張コンクリートすることで通行の安全確保に努めることが有効であるが、コスト(人・予算等)が必要となってくる。また張コンクリートは、対象箇所も多いことから長期的な計画作りが必要である。

**評価変更理由**  
安全確保のために早期の補修をすすめるべきであり、二次評価は「①コスト・成果ともに拡充」とする。